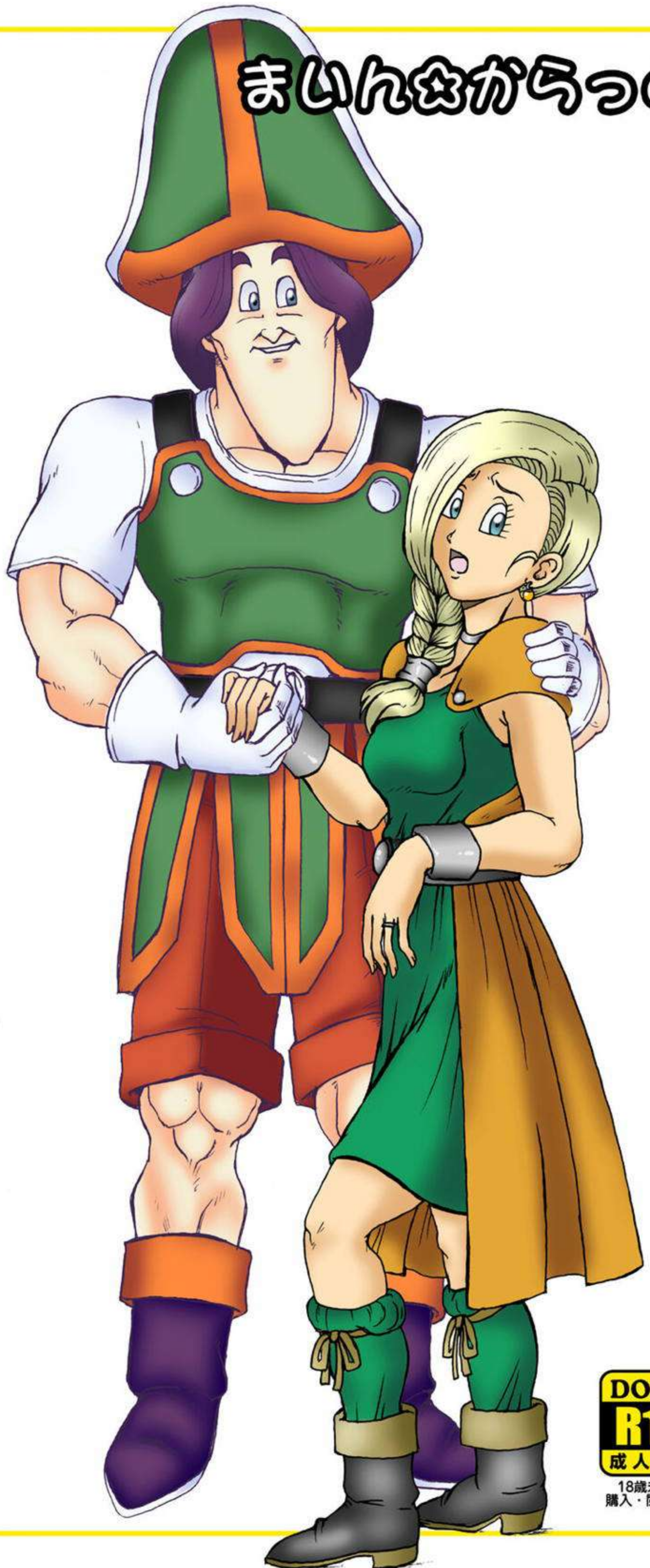


まいん☆がらつと

まいん☆がらつと

まいん☆がらつと



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

まいん☆がらっど

調教マシーン

たろんおろん



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



あつ

はん!

やつ...

はアん!?

110

ほら! どう?
ねえ!? ビアンカ
気持ちいい!?

よオしい感じだ!
だいぶ自然な反応に
なってきたね!

それじゃあ次も
昇天ギリギリで
寸止めしよっか

は...はい
あなたあ

あ...あ...
あ...あ...

む...無理?
いくら何でも
もう...限界...

え...ついいいじゃん
あと一回くらい
がんばろ? ね♡

む...無理よお...!
もう身体が敏感に
なりすぎてツ...

仕方ないなあ...
じゃあボクの指示に
従ってイクんだ!

これ以上したら
本当におかしく
なっちゃうツ...

いいね!?
ビアンカ♡

はい...
はい!

ほお...
あ...あ...
あ...あ...

ピアンカは
誰のヨメなの!?
名前を言ッて!

あッ...ああッ...!?
ピピン...ン...ピピン!
あ...あた...しッ...
ピピンのヨメええ!

そう...いいよ
もっと妄想して
極限まで興奮
するんだッ...

そしたら
『愛しているのは
ピピンだけ』って
宣言しながら
イッてごらん!

だッ...!?
ダメええええええ!

...すごいぞ!
今回は潮まで
吹いちやった!

しかも—

二時間かけて
九回の寸止め
に成功ッ...
記録更新だ!

でも休んでる
暇はないよ!

この調子で次は
もっと記録を
伸ばすんだ!

いいね?
ピアンカ

このボクが夫として
さらなる快楽を教えて
あげるからね...

...



調教ビアンカII

まったく…
こんな時間まで
何してたんだ？
心配したんだぞ

今度から遅くなる時は
誰かに行先を言ってから
出かけてくれよ…

ピ…
ピピン！

…っ!?

おい…
聞いてるか
ピアンカ？

ご…
ごめんなさい

げん

あれ？
ピアンカさんと
アベルさんじゃ
ないですか？

こんな玄関の前で
何してるんです？

ああ…
おはよう
ピピン

それがピアンカのヤツ
ひとりで出かけていて
今朝帰ってきたんだよ

そんな小さなことで
ぐだぐだ説教なんか
したら可哀想でしょ

さピアンカさん
早く中に入って
お風呂で温まって
きたらどうです？

あ…
ありがと

↑
こっそり裏口から入ってしれっと玄関から登場

女湯

はあ…ホント
ひどい目に
あったわ…

はあ…

まさかサンチヨが
あんなことを
するなんて…

それにピピンはピピンで
助けてくれたと思ったら
暴走するわ指輪とるわで
意味不明すぎ…

かほ

ん

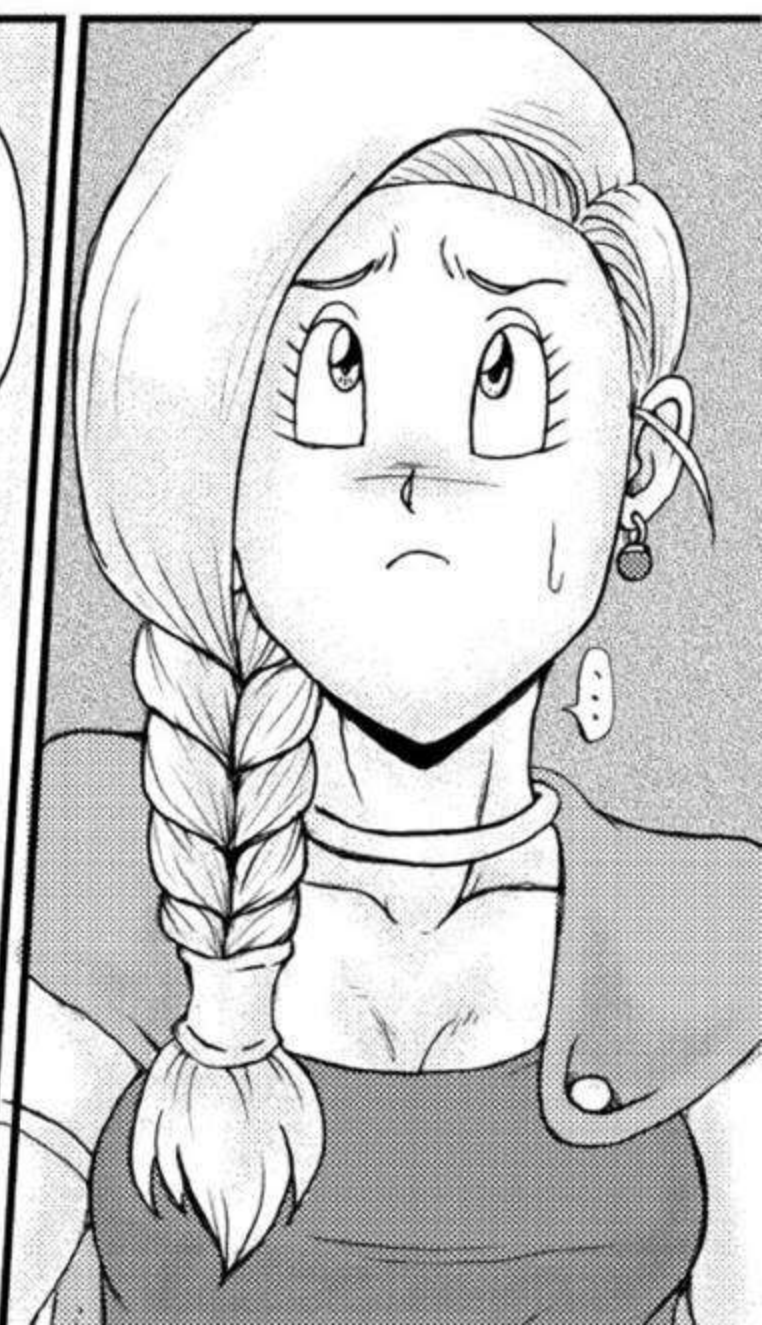
とはいえ悩んでいても
何も解決しないわ

気持ちを切り替えて
いかなきゃ…

何とかしてピピンの
ご機嫌を損ねずに
指輪を返してもらおう
方法を考えるのよ！

サ

バツ

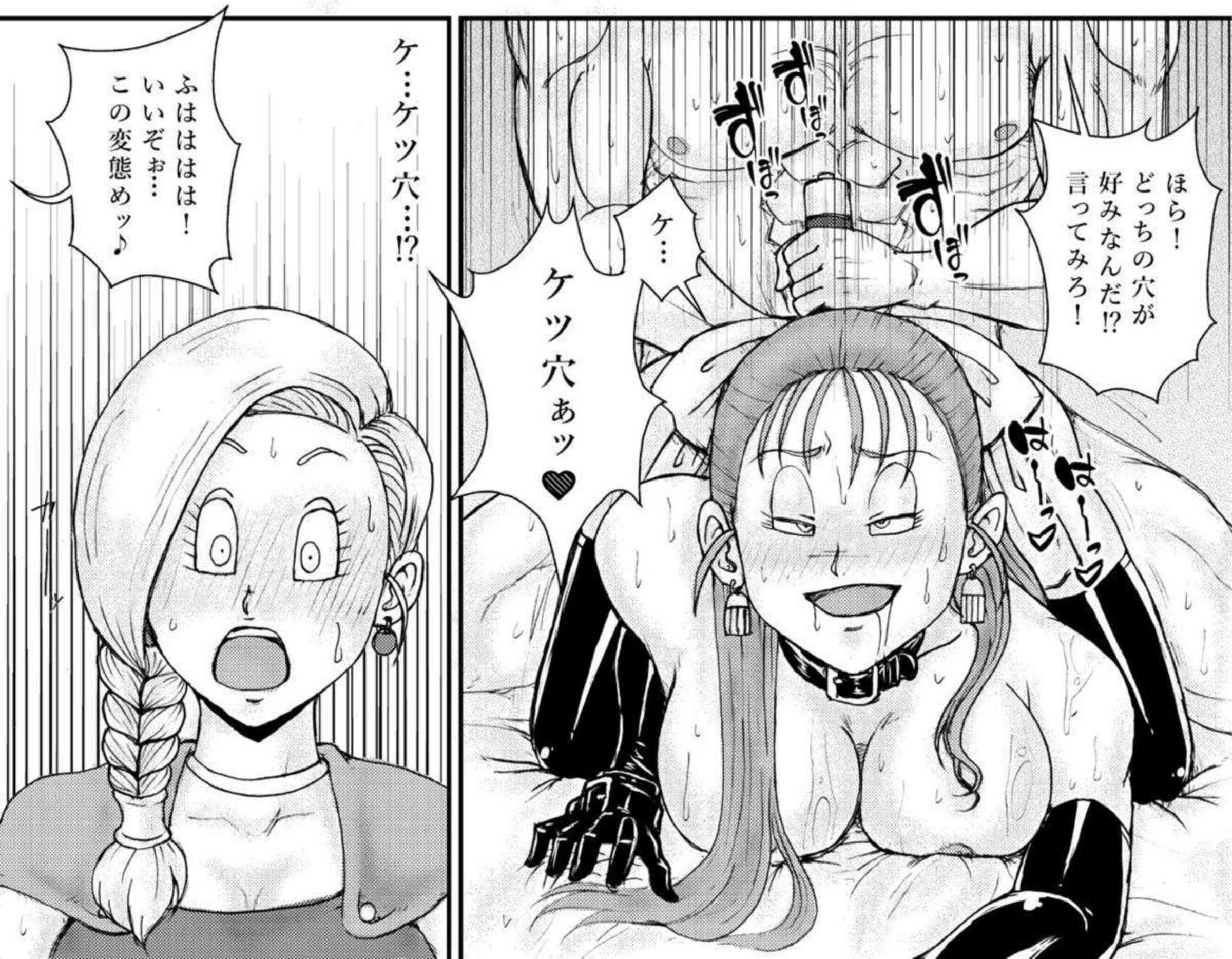




フッ
フローラ!?

ふはは!
どうだ!?
気持ちいいか
フローラ!

あっは〜ん
気持ちいい
ですっ♪



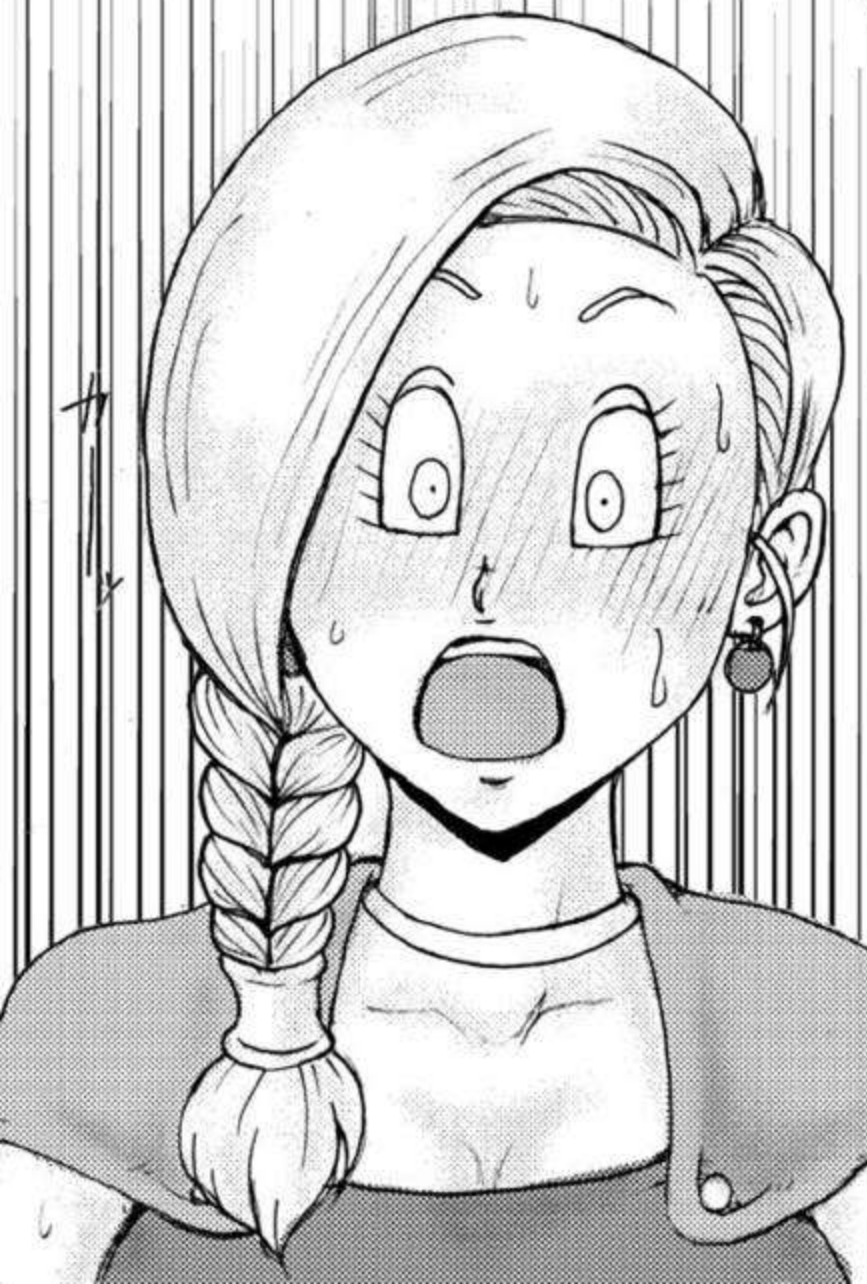
ほら!
どっちの穴が
好みなんだ!?
言ってみろ!

ケッ

ケツ穴あッ♡

ケッケツ穴!?

ふはははは!
いいぞお..
この変態めッ♪





つていうか…
なんであなたが
フロラーの部屋で
そんなことして
いるの!?

くくく…
もう完全に
仕上がってるな

手間暇かけて
調教してやった
甲斐があるよ

…アベル!

ほら!
この肉体は
誰のモノだ!?
言ってみろ!



う…
うそでしょ?

ふはは! そう…
それでいいんだ
フロラー!

フ…フロラーに
なんてことを
言わせてるのよ
…あなた!?



はい!
私の肉体は
アベル様の
モノです!

…もう
おもちゃあ♥



ほら…ご褒美に舐めてやるよ!

あはあん♡
うれしい…

でも…なんか
ピアノカに
悪いわ…

そんなこと
気にするな

あんなヤツ
肉体が目当てで
結婚してやっただけ
なんだから…

あの女はもうただの
セックスマシーンだ!

このボク専用のね!

あいつはおまえと違って
粗野で野蛮だったから
ボクの監視下に置いて
洗脳してやったんだよ!

ボクが本当に
愛してるのは
おまえだけだ

…フローラ♡

まあ…あの野蛮な
セックスマシーンも
身体だけは一丁前に
エロいからな…

そろそろ完全な
変態マシーンに
魔改造して
しまおうか(笑)

カタン…

…え?

ポロ…

フフフ…





そこまです！
ピアンカさんから
離れてください！

まったく…
またあなた
ですか!?

それ以上は
このボクが
許しませんよ！

懲りない人
ですね！

グゥ
グゥ

ピ…
ピピン!?

…えっ!?

そんなブタみたいなの
容姿でピアンカさんに
手を出そうとするとは
片原痛いですね！

えっ…えっ…?
わ…私…?

和和

私…なにか
しました?

ピアンカさんは
ボクが守ります！
二度と近づくなッ
…汚らわしい!

ぽかーん

??
??

え…ええ…
ありがとう
…ピピン

大丈夫ですか？
怖かったでしょ!?!
ただちにここを
離れましょう！

ここは危ないので
一度ボクの部屋に
避難しましょうか



・ピピン様

落ち着きましたか？

え…
ええ…

もちろん！
でもその前に
一つ質問して
いいですか？

なあに？

ピアンカさんにとって
いちばん大切なものって
やっぱりアベルさん
なんですか？

それはよかった
…ところで昨日は
暴走してしまって
すみませんでした

謝るくらいなら
あたしの指輪を
返してくれる？

そんなの
あたりまえ
でしょ？

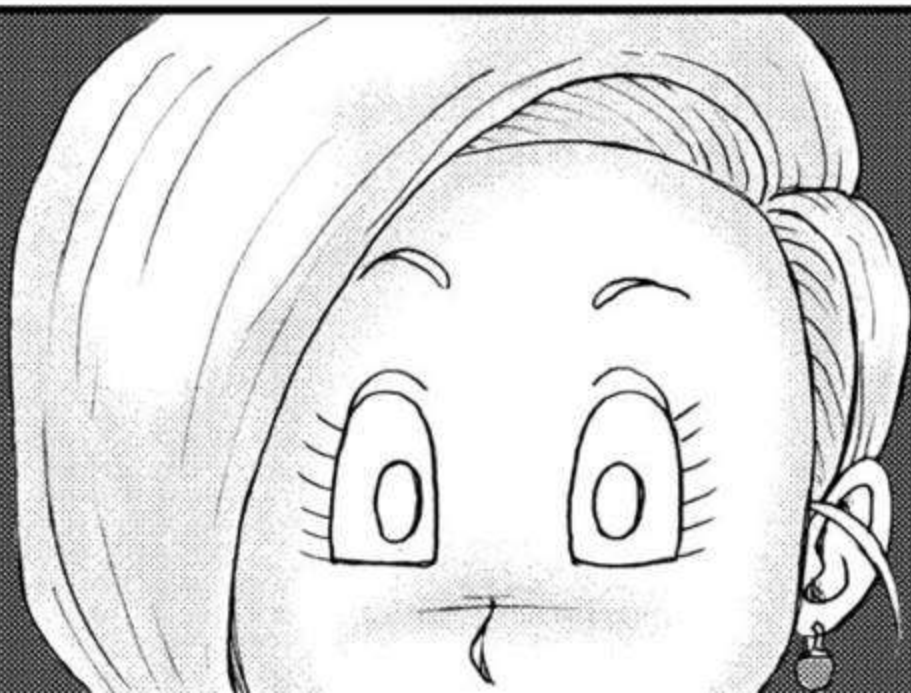
だってアベルは
あたしの…

ボクが本当に愛しているのは
おまえだけだ フローラ

…あれえ？
どうかしましたあ？
急に固まっちゃって

…え？
う…うん！
何でもないわ

それよりも
指輪のこと
だけ…





ああ：
指輪ですね

もちろん
返しますよ

…だけど

今からボクと
合意的にHして
くれませんか？

せめて最後に
もう一回だけ
ボクにチャンスを
ください！

…え？

な…なに
言ってるの？

ピピンだって
さっき自分で
暴走してたって
言ったじゃない

それとこれとは
話が別です！

ボクは本気なんですよ！
ピアンカさんへの愛なら
アベルさんにも負ける
つもりはありません！

どうしよう…そこまで本気だったなんて…
正直ピピンとHなんてイヤだけど…

どうせ何もしなかったら
ピアンカさんはアベルさんの
モノになっちゃうんでしょ!?

だったら一度だけでも
このボクと愛し合って
欲しいんですよ！

恋人ごっこで
いいんです！

ねえッ…お願いッッ…
演技でいいからあッ

ボクッッ…
やりたいんですッ
ピアンカさんと！

忘れらんないんですよお!?
その肉体の味と匂いがッ…

もう一回だけHすれば指輪は返ってくる…
むしろこれはチャンスかもしれない…

↑
ピピンの失言を聞き逃すピアンカ

そう…
これは裏切り
じゃないわ

…ねえ！
ピアンカさん
聞いてます!?

ゴク…

だ…だいたい先に
私を裏切ったのは
アベルの方だもの…
そうよ…
アベルが悪いのよ！





おえええッ…
お…!?

モノ…

離してッ…

ちよ…!?
いッ…や

!?



そしたら想像と
違っていたから
つい思わず反応
しちゃったの…

こっ…恋人っていう
設定だっけ言うから
もっと優しい感じで
来るのかと思って…

ご…
ごめんなさい!?



…なんでボクを
拒絶したんですか?

それに…
イヤそうな顔で
『おえええ…』とか
言いましたよね?

あッ…

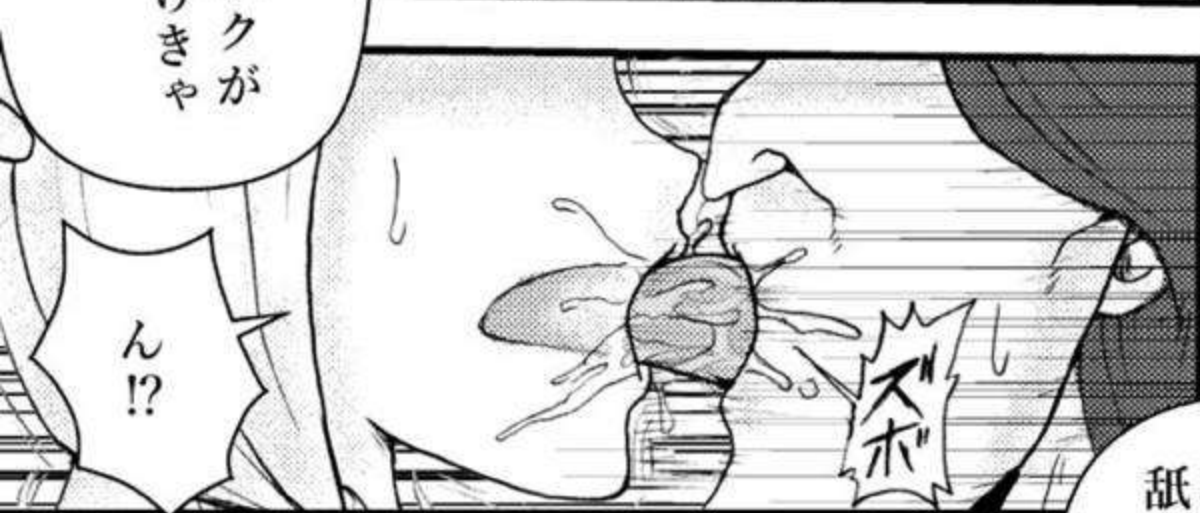
ひッ



なあんだ!
そういうこと
ですか!

だったらビアンカさんの
リードでやってみます?

それなら自分の
イメージどおり
できるでしょ!





ピアノカのやつ
見なかったか？

げっ...!?
坊ちゃん！



おかしいなあ...
どこ行ったんだ？
あいつ...



お！
サンチョ
じゃん！

ちようどよかった
ちよつと聞きたい
ことあるんだけど



...もしかしたら
知らないうちに
私が何か失礼な
ことをしていた
可能性もある...
ここはひとまず
とぼけておいた
ほうが...

ど...どどど...
どうする...?
別にやましい
ことがあった
わけではない
のですけど...
ピアノカ様の
あの反応...



う...ウソをついてしまった...
はい



そうか
引き留めて
悪かったな

もし見かけたら
僕が探してたつて
伝えてくれよ



さ...
さあ？

知りません
けど...

2時間後

よおし!

いい感じだ

わわ

わわ



ちゅる...

そう...
いいよ...

もっと奥まで
吸いついて...



わわわわ

ペロの動きが
だいぶ良くな
ってきたね

じゃあ...お次は
吸いつくヤツ...
いってみようか!

さつきと同じように
やれば大丈夫だから!
さ...やってみて!



ちゅる...ちゅる...

...そのまま
ピストン!



ちゅる

ちゅる

それにしても
すごい顔に
なっちゃったな

ほら!
鏡で自分の顔
見てみろって!



あ...あたしの...カオ?

キラ

ちゅる

ちゅる



ちゅる

ちゅる

ちゅる

ふふ...もう
カンペキだな
ビアンカ♡

やっぱりボクと
相性がいんだよ
ビアンカは♡

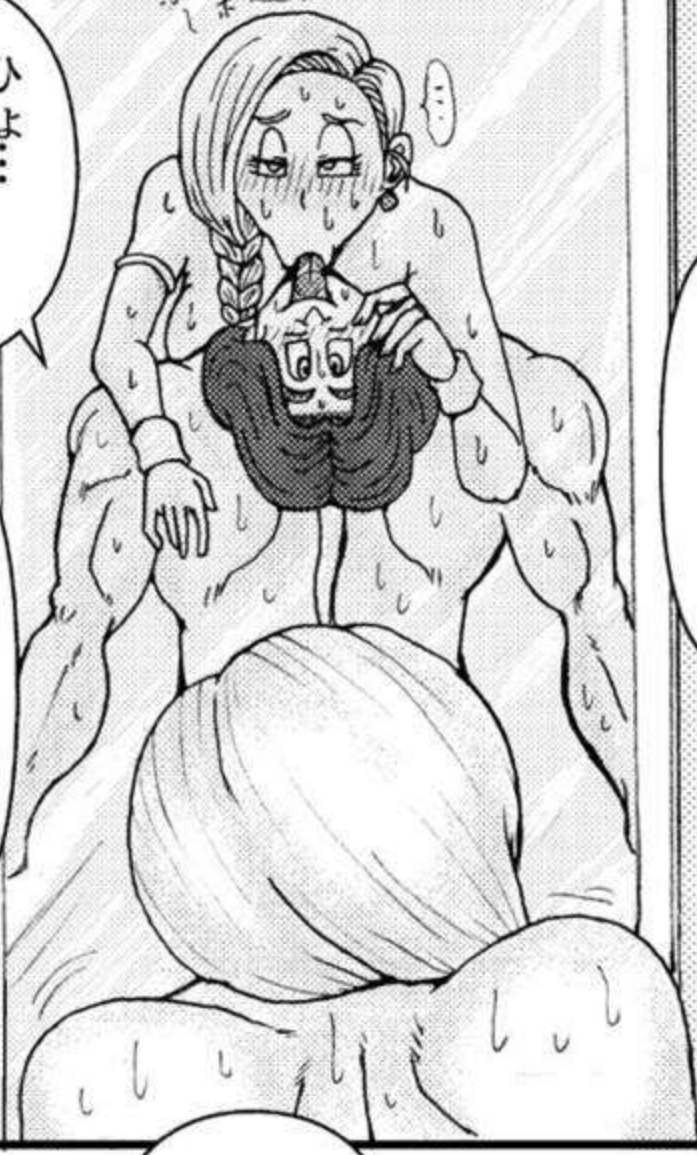
ぶっ続けでレッスン
していたとはいえ
2時間でコレだ...

…え？
なに…このイヤらしいカオ…
これが…あたし…？

それにしても
本当エツロい顔に
なっちゃったな
ピアンカ♥

もう調教なしでも
ひよつとこフェラ
できそうだね(笑)

ベロフェラを
先に覚えさせて
正解だったよ！



ひよ…
ひよつとこ
…フェラ？

…ナニ
ソレ…？

ひよつとこっぽい
カオになって
フェラするんだ

コツは思いっきり
吸いつくこと！

ああ…あたし…
こ…こんな…
裸同士でピピンの舌に吸い付いてる…

だ…だから
そのフェラって
何なのよ…？

え？

フェラを知らない？
もしかしてフェラ
やったことないの？

フェラチオって言って
チンコをしゃぶるんだ

ち…チンコを
…しゃぶる!?

まさかアベルさんのも
しゃぶったことない？

まあ…それは
はつきし言って

ア…アベルは
そんなことしたいって
言わなかったもんっ？

あいつがピアンカに
魅力を感じていない
だけじゃないかな？

そッ…

それは…

ふふ…心当たりが
あるみたいだね

フェラなんてみんな
あたりまえのように
やってるんだから

…さ

しゃぶってごらん

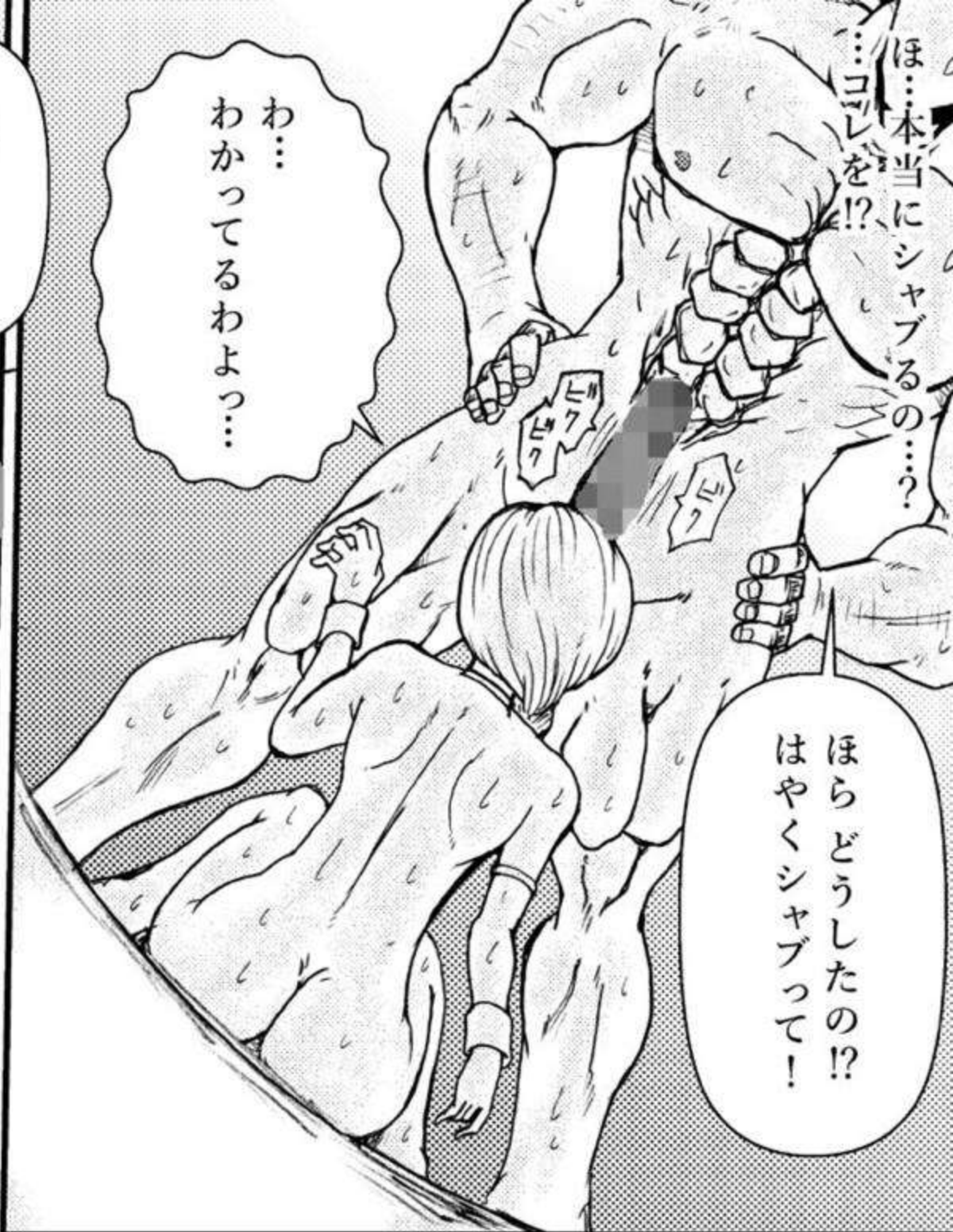




も...もうやるしか...

103...

さ...
まずは
舐めてー



ほ...本当にシヤブるの...?
...コレを!?

わ...
わかってるわよ...

ほらどうしたの!?
はやくシヤブって!



—啜くわえるツ

はく



そう...
ペロフェラを
思い出しながら
シヤブって!

よし...いいぞ
そのまま
ひよつとこだ!

こ...こう?

そうだ!
イイ感じ!
もつともつと
ひよつとこに
なるんだツ!



ああ...へんな味...
アベルのもこんな味なのかしら...?

ふははは!
そうツ...最高だあ!
完全にひよつとこに
なっちゃってええツ!

あ...ツ...イイ...♡
もうカンペキに
出来上がったる...

ふふッ

ひよつとこ
ビアンカッ♡

...完・成♪



よしッ…射精すよ！
ボクの精子ッッ…
ぜんぶ飲んで！

…えっ!?



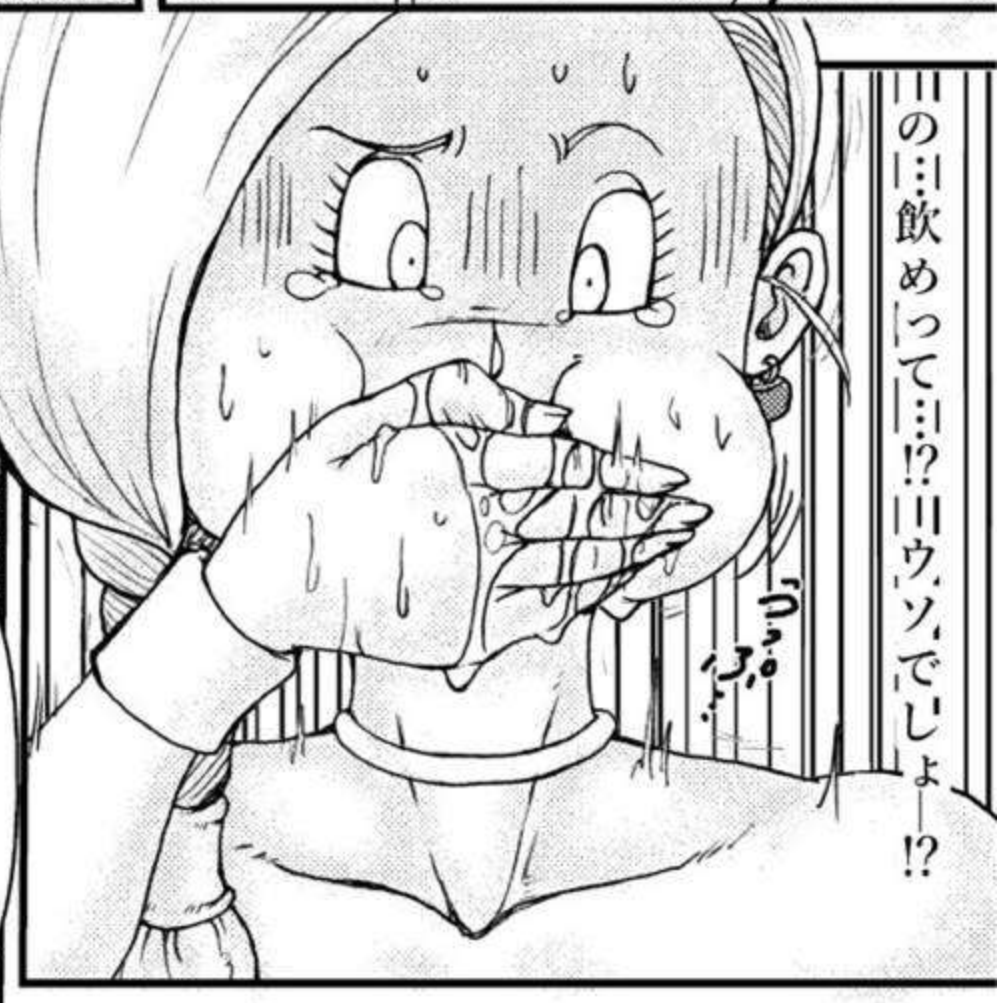
ああッ…!?
すッ…ごおい…
そのカオッ…
ピアンカああ…



の…飲まなきや…
はやく飲んで
ボクの精子ッ…
さあ！

…それとも
また指輪は
お預けかな？

せつかくの努力が
無駄になっちゃう…



の…飲めって…!? ウソでしょー!?



フフ…初フェラってことは
精飲も初めてだったかな？
でも愛する恋人の体液
なんだから飲めるよね？



おっ…
おえええ…!?

また「おええ」って
言いましたね…

ボクの精子を飲んで
「おええ」って言った!

ご…
ごめんなさい!?

だってあたしッ…
あんなモノ飲むの
初めてだったから…

で…でもちゃんと
飲んだでしょ…?

ゆびわ…
返してくれる
わよね…?

ダメですね

そ…そんな!?
どうして…

せっかく恋人の精子を
飲ませてあげたのに
そんな反応されたら
気分悪いでしょ!

でも大丈夫ですよ!
まだ休暇はあと四日
ありますから!

その間可能な限り
ボクと二人っきりの
時間を作ること!

いいですね?

ちなみに次回からは
愛人ごっこします!

あ…愛人…
ごっこ…?

そうです!
クズの夫と結婚して
しまったピアンカ…

ある日ピアンカの前に
白馬に乗った王子様が
現れて恋に落ちるッ…

もちろん王子様は
このボク!
そういう設定で
いきましよう!

わかったら
返事して!

はい…
はい…

そしてあたしはその日からピピンの愛人となって
三日間朝から晩まで毎日彼の調教を受けた



何度も教え込まれた変態テクを
さらにピピン仕様に磨き上げられ



彼好みの変態的な性癖を好むように
思考も改造されていった...



気がつけば残り
あと一日ですね...
名残惜しいですよ

せつかくなんで
最後の一日は
夫婦ごっこに
しましょうか!



ふ...夫婦
ごっこッ!?

いいでしょ
別にッ...

愛人ごっこも
夫婦ごっこも
同じですよ!

もう明け方ですし
時間も惜しいので
少しだけ仮眠とって
すぐに始めましょう



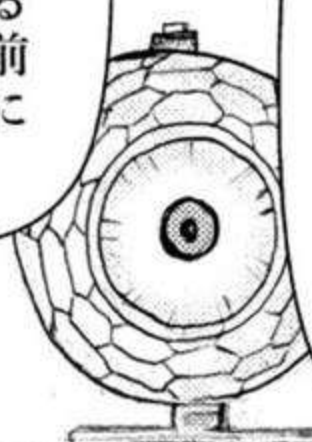
ゆびわ...返して
欲しいんでしょ?

だったら
がんばらなきゃ
ですよ!

それから...

先に言っておきますけど
夫婦になるんですから
ボクのことには『あなた』って
呼んでくださいよ?

仮眠をとる前に
いちど予行演習
しておきましょう



...いいね?
ピアンカ

は...
はい...

...あ...
あなた



ふふ
綺麗だよ
ピアノカ

さすがボクのおヨメさんだ

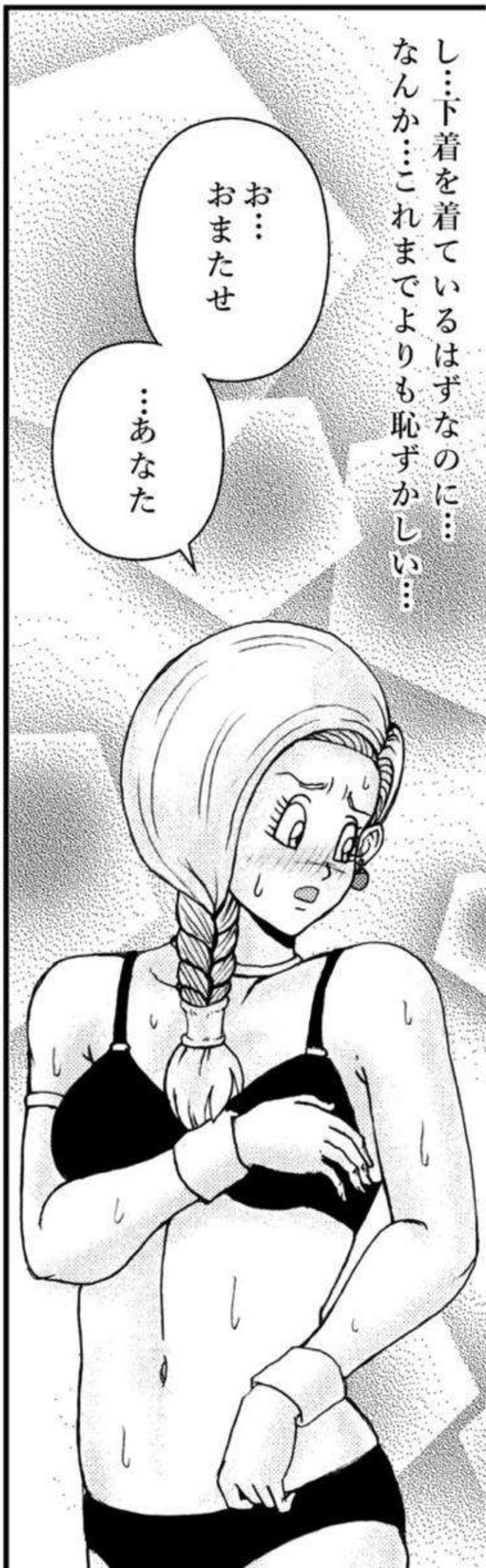
3時間の仮眠をとったあと
あたしはピピンの命令に従い
彼が用意した下着に着替えた
そして彼の欲望を叶えるべく
言われるがまま演技を始めた
言葉や動き
そして仕草までもー



今日はこれまでよりもっと興奮する特別なプレイを教え込んであげるからね!

さ...
こっちにおいで
ボクのピアノカ♥

は...はい
あなた...



し...下着を着ているはずなのに...
なんか...これまでよりも恥ずかしい...

お...
おまたせ

...あなた



…あ!?

ガッ

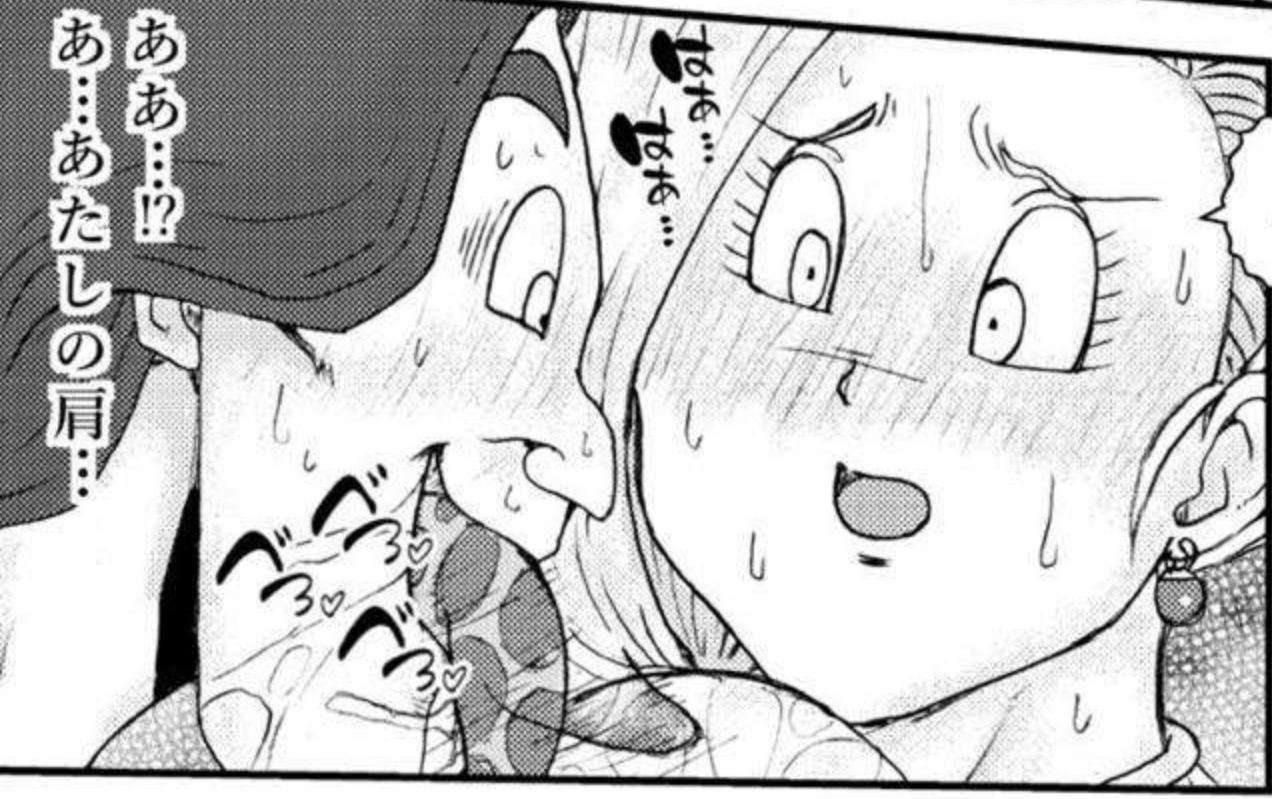
もっと肉体を
密着させろって

まずは左肩ツ…
舐めてみて!

…なに?
まだ恥ずかし
がってるの?

は…
はい…

仕方ないなあ
ボクが手本を
見せてあげるね



…や

たが…
たが…

ああ…!?
あ…あたしの肩…



いッ…!?

ほらッ…
こーやって
舐めるんだ!



さあ
次はピアンカ
の番だぞ!

今度は
ボクの右肩で
やってみて

べろよお…

ハッ
ハッ



こ...これで どうっ...!?

そうそう イイ感じ イイ感じ

ボクの肉体を ビアンカのツバで コーティングする ように舐めるんだ



ぜんぜん ダメ!

どれ! もう一回ボクが 手本を見せて あげようか!

え!? ま...待って! ちゃんと やるからッ...



こ...これが... 男の人の乳首...

ほら 吸って!



そう... いいよ... 味も覚えて♪

あ...味を覚えるって...



よし思う存分 舐めまくったら 次は右乳首ね

乳首は まず舐めて から吸う!



ピピンの乳首の...味ッ...

ちゅーん...!!

...



な...舐めて 吸う...? ...あたしが?

ピピン のを...?

当たり前でしょ 妻なんだから! ホラ早くッ...

はい...

よおし…お次は
左乳首に移動!

そう…
赤ちゃんがママの
おっぱいを吸うように
ボクの乳首を吸うんだ

ふふ…
ずいぶん
えっちな顔に
なっちゃって…

あべルは見たこと
ないんじゃないの?

ピアンカの
そんな顔♪

ボクしか知らない
ピアンカの顔♥

ほま

ピ…ピピンしか知らない
あたしのカオ…?
…ナニソレ?

よしッ…じゃあ
そろそろ脇ッ…
いってみようか

ぼ

ここは匂いを
よおく嗅いでから
舐めるんだよッ

そう!
上手だよ
ピアンカ♥

…え?



うう…なんでこんなトコの匂い
臭がなきゃならないのよ…!?

そおー…!

んも んも



何やってんの?!
はやく嗅いでよ

わ…
わかってるわよっ



う…!?
す…すごい
におい…!?



ほら!
こうやって密着すれば
よく嗅げるから!

いッ…いやあああああッ…!?

!?



なに?
えんりよして
いるの?

もっと近くで
豪快に嗅いで
いいんだよ



…え?

ッッ



…あっ!?

んん



すうらうら…

も…もうダメ…息が限…界!?



ちよつ…
なにす
のーッ!?

んっ!?
んーッ!?

ほら
うんと嗅いで
いいんだよ!



あれ?
どうしたの?
ピアンカ

手がぶらーんって
なっちゃってるよ?

…

びんびん

ぶらーん



ふふ…
興奮しちゃう
でしょ!?

さ…
思う存分嗅いたら
次は舐めるんだ



ほら!
はやく
はやく

ズル…



はは！
匂いで興奮しすぎ
ちゃったのかな？



ほら…立って
ピアンカ

…あ

ベッドに
行くよ

布団の上でじつくりと
ボクの脇の匂いと味を
堪能させてやるからさ！



ふふ…
今日は新たな性癖を
たくさんピアンカに
教えてあげるからね



な…なんか…
だんだんへんな気分…

ほま

ほま…

ほま…

ほま…



ッ…!?

ほら…思いつきり
息を吸い込んで！
たっぷり嗅いでッ…



フフ…すっかり
興奮しちゃって…

さ…満足したら
舐めてごらん？



ああ…あ…!?
これがピピピの脇の味…

すっ…すごい味がするッ…!?

そう…いいよ！
うんと舐めて
ボクの脇の味を
完全に覚えてッ

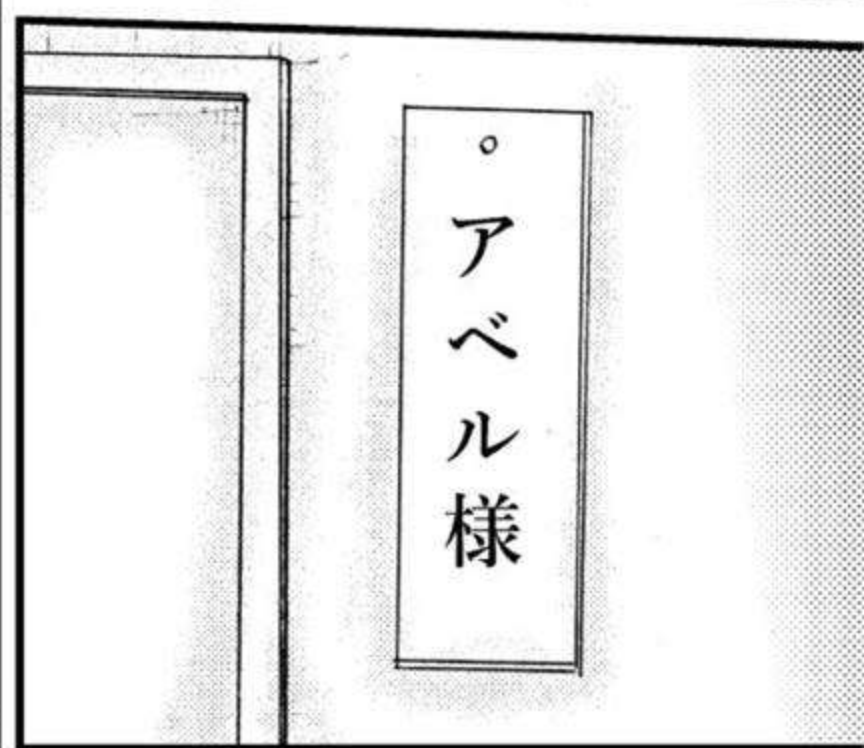
慣れてきたら
腋毛を吸って
ボクの脇汗を
飲むんだ！



な…舐めなきや…



へっ



もうそろそろ
十時か…

5日あった休暇も
今日で最後…



せっかくルドマンさんが
家族で使うようにって
大部屋を用意してくれた
のにな…



アレックスと
タバサも
寝ちゃったし…



どちらにしても
家族水入らずは
おあずけか…

それにしてもあいつ…
今日が結婚記念日って
忘れてるんじゃない
だろうか…？



プレゼントも
用意したのに…

まったく…
ピアンカのやつ

毎日毎日
いったいどこに
行ってるんだ？







ね…ねえ…
あなたあ…
どおう…?

うん！
イイ匂いだよ
…ピアンカ♪

もっと
舐めて♡

…え？
い…いい
匂いって…

あたしの
つばが…？

決まってる
でしょ

ふふ…
いいぞ！

困惑しているが
まったく抵抗する
気配はない…



やだ…!? ピピンの顔…
すごいことになってる…

ああ…
ピアンカのツバ…
イイ匂い…♡

ふふ…やっぱり
メダパニは
最高だなあ…♪

ああ…あたしッ…!?

ピピンの顔をヨダレ塗れにして…
イイ匂いだとか言われてッ…

興奮してるッ…

とーん。

あ…っ…
イイ…♡

ピアンカのツバで
もっとべちよべちよに
して…ボクの顔…

う…うそでしよ…!? あたし…
興奮してるの…!? こ…こ…こ…
こんなので…!?

はい…
はい…



ねえ…
ピアノカあ
キスうう…♡

ヨダレまみれのペロで
ボクの口の中舐めて…

んっ…ふうん…
あな…たあ…

ふふ…いいぞツ…
完全にボクの妻に
なりきってるツ…

…ピアノカは
もう完べきに
理性を失った!

あ…

あ…



カ…カオがつ…!?
…ピピン、のつばまみれッ…

へ…
ヘンタ…イ…

…すごい匂いッ

さあ…本当の
パートナーと
合体だ!

なに言ってるんの(笑)
ピアンカだって
もうボクと同じー

ただの
変態じゃん♪

ふふッ…それじゃ
お互いのツバを
嗅ぎ合いながら
交尾しようか!

えっ!?

ほらピアンカ!
もつとツバの匂いを
嗅いで興奮しろって!

もうアベルなんかじゃ
興奮できないように
してやるからッ…

おほ

ら…らやっ…

いつ…
いやあああ…!?

ニギニギ

ニギニギ

よっしゃ！
上と下
変わってみ

肉体もぜんぶ
ツバまみれに
してあげる！

えっ…!?

よしッ…
これでお互いの
ツバまみれだ！
おそろいだね♡

あ…あたしッ…!?
つばまみれええええ…

ああああ…!?
う…
うそでしょ…!?

ほら…もっと
興奮しろよッ
ピアンカ！

ほ…ほ…

こーゆーふう
うんといっぱい
塗ってやるからッ

べた
べた

ボクのツバ♡

ほらほらッ♡
肉体の隅々まで
ボクのツバで
マーキングッ♪

あ…あ…
ピ…
ピピン…

わい♡
わい♡

めり
めり

ふふ…顔にも追加だ！
『もっとツバだらけに
して』って言うてみて！

いッ…!?
い…いいい…
いやああ…!?

そんなのッ…
へ…変態に
なっちゃう…!?

いいから
言うて！

やっ…あ…!?
は…恥ずかし
すぎるッ…

じゃあ今のピアンカは
いったい誰のおヨメさんなの!?
ほら…言うてみてよ！

あた…しはッ…!?
ピ…ピピン…
おヨメさん…

そうでしよ…ッ…!?
だったら夫の言うこと
聞かなきゃダメでしよ…ッ

ほらああ…
あなたのつばイイ匂いッ…
もつと塗りたくってッッ♡

ハッハッハッ
ハッハッハッ

でも…今は…
ピピンの言うこと…聞かなきゃ…

あ…あたし…変になりそうッ…

あ…ああ…!?
あなた…のッ
つッ…ば！

い…いいッ…
イイ匂いッ
も…もつと…
塗りたくって…

ひん
ひん

…ッて

言うてみてえええ♡

ハッハッハッ

とん

ほら！
もっと匂いで
興奮しろって！

もうアベルなんかじゃ
イケない身体にして
やるからッ…

…もうあんなヤツとの
セックスなんかじゃあ
何にも感じない身体に
してやるからッ…

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いっしょ

ちよッ…!?
やッ…
だあ…あッ!?

なんでそんな
反応になるの!?

前の男の名前を
ちよつと口にした
だけなのにッ…

ちよつ…とッ
ピピン…!?

前の男って…!?
あ…あたしは
まだアベルとッ…

今の夫は
このボクでしょ!?

だ…だって…
アベルは
あたしのッ…

なんでそんなに
アイツがいいの!?

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いっしょ



あんなヤツ
肉体目当てで
結婚してやった
だけ……

あの女はもう
ただの
セックスマシーン

僕が本当に
愛してるのは
おまえだけだ
……フローラ♡

……ア……
アベル……

ピアンカ!

……え?

もうあんなヤツのこと
忘れさせてやるから!

……ッあ!?

イイ匂い!?
ねえッ……興奮
しちゃう!?

いッツ……
やッ……あ!?

いッ! いッ!
いッ! いッ!
いッ! いッ!

いッ! いッ!
いッ! いッ!
いッ! いッ!
いッ! いッ!

いッ! いッ!
いッ! いッ!

ちよつ…と
ピピ…ン!!
だッ…め!?

まだそんなこと
言ってるの…!?

やめ…て…
これ以上は
あたし…

本当にどうにかなっちゃうッ…

べろ!
べろ!
べろ!

なんでアベルに
騙されてるんだって
わかんないんだ…!?

あ…

あの野蛮な
セックスマシーンも
身体だけは一丁前に
エロいからな

そろそろ完全な
変態マシーンに
魔改造して
しまおうか(笑)

な…なによ…!!
アベルなんか!

いいかげんに
気づけって!

誰がいちばん
ビアンカのことを
愛してるの…!?

ねえッ!?

ボクでしょ!?

…いいから
もう快樂に身を
任せちゃえって!

ああ…あ!!
ピピ…ン…

どうせあたしが他の男に汚されたって
何とも思わないんでしょ…!?!
だったら…もういいわよッ…

レロレロ
レロレロ
レロレロ



ピアンカ…♡
ボクの目を
見つめて…

ほくら…
ツバの匂い
嗅いで…

匂いで
興奮して…

そうう…
もつと嗅いで
うんと興奮
してごらん…

ピ…
ピン…
あたし…

…さあ

『いい匂い♡』
…言ってみて

…
い…

いい…
におい…♡

そう…それで
いいんだよ♡



これからボクが
ずーっと愛し続けて
あげるから

もうあんなヤツ
忘れちゃえって！

愛してるよ…
ピアンカ♡

あ…

わん
びわん

はあ♡
はあ♡
はあ♡

はあ♡

がが
がが

ビキビキ

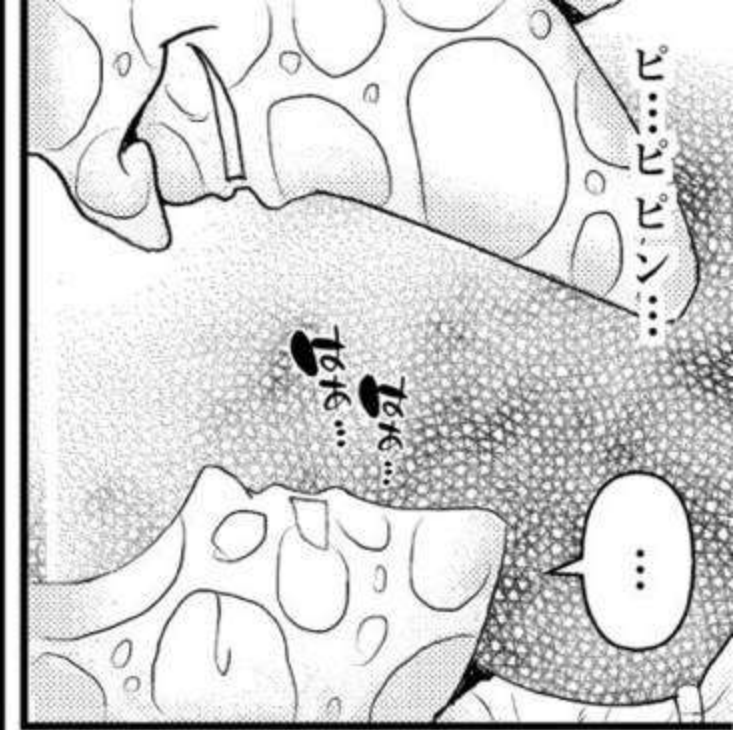


ビアンカツ...

んっ...う!?

は...♡

は...♡



...そうッ
イイ子だ!

もっとベロを
べろんべろん
動かしてーッ

あ...あ...!?
はっ...はい!
あな...たあ♡

あ...あ...!?
はっ...はい!
あな...たあ♡



愛してるよッ...
ビアンカツ♡
...愛してるッ

んお...おっ!?
ピピ...ん...

あ...あ...!?
はっ...はい!
あな...たあ♡

射^だ精すよ！
ピアノカあ♡

ボクのを愛を
受け取ってえ
ええええッ♡

いやあああんッ♡

ふふッ…ツバの匂いを
嗅いで興奮するようにな
つちやった…？

は…
はい…

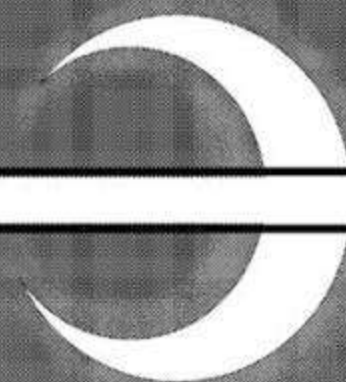
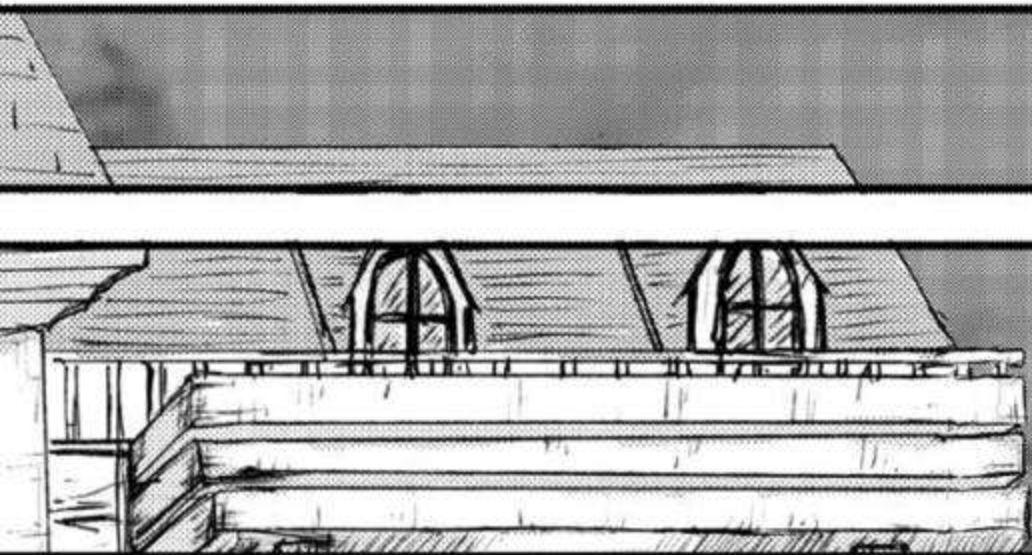
よし！もう日にち
変わっちゃったけど

ふふ…
乾いちゃったね
…ツバ♪

い…
イヤらしい
匂いッ…

このまま朝まで
続けちゃおっか？

…夫婦ごっこ♡



ピアンカへ

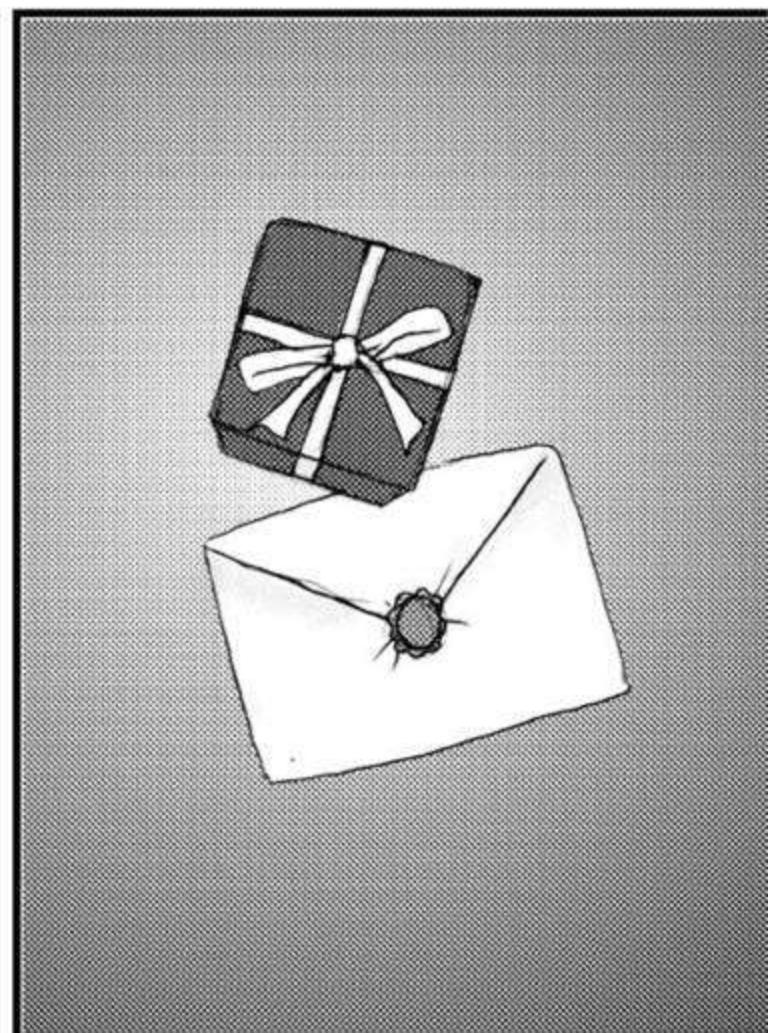
いつも僕を支えてくれてありがとう

君に似合うと思って選んだプレゼント
よろこんでもらえるとうれしいよ

今後はこれまで以上に厳しい戦いに
直面することになると思う

これからもずっと僕のそばにいて
挫けそうになったら支えて欲しい

愛してる



ほら！
ツバが乾いて
イイ匂いッ…

…言ってみてッ

いやあああんツ…!!
おかしくなっちゃうッ

いいから
言えって！

んぶう…!!

ちよツ…!!
ちよつと待って
ピピンッ…

ダ…
ダメッ…
あたしッ

も…もう
イキそうッ

おっと！
まだイカセ
ませんよッ

ね…ねえ…
もうそろそろ
終わりにして…

こんなの続けてたら
あたしッ…本当に
どうにかなっちゃう…

ほお〜

はぁ〜

はぁ〜
はぁ〜
はぁ〜
はぁ〜



イ…
インターバルって…

それじゃあ5分ほど
インターバルをとって
すぐに始めようか！



6時過ぎ
か…



もうすぐみんな
起きてくる時間だし

記録もまた大幅に
更新できたしね

…ま
いいでしょ



こ…
こう？

そうそう
いい感じ
いい感じ♪

最後はピアンカが上になって
自分で出し入れするんだ

それから背中を
こっちに向けた
体勢でやってよ

そ…それじゃ
入れるわよ？



…さ
5分経ったよ

た…
たぶん

もうそろそろ
身体も落ち着いて
きたでしょ

よしそれじゃ
再開しよう！



はッ...あ!?

だ...だめッ...!?
少し擦れただけで
イツちやいそうッ...

びん



んっ...



いいかい?
出来るだけ時間を
かけてイクんだぞ



ピアンカなら
できるよ!

んんん

は...はい
あなた...

少しずつ入れて
ゆっくりと
動かすんだ...

大丈夫ッ...
落ち着いて

ズ

ズ

ズ

…ほらね
我慢できた

これまでの人生で
経験したことない
気持ちよさでしょ？

アべルとじゃ永遠に
体験することが
できなかった快感だ

はアん…!?
ピピン…?

そのまま限界まで
耐えて耐えて
耐え抜いて…

そして
思いつきし
イクんだ!

…いいね?

は…はいつ
あなたツツ

ふふ…いいぞ
すっかり夫婦ごっこに
のめり込んでるな…

あまりの快楽で
完全に脳ミソが
イッチャってる(笑)

薬の効果に加えて
アベルに対する
不信感…そして

ああんっ…

いいツ…♡
気持ちよすぎるっ

ふっ…

ふっ…

…それにしても
綺麗なアナルだな

もしかしてこれは
指も未経験の完全な
ケツ処女なんじゃ…?

…ねえ
ピアンカ

もうちょっと
前かがみに
なれるかな?



あゝあ...
こんなにおしっこ
漏らしちゃって...

あれ?
...ケツの穴で
イっちゃった?



...ん?
そんな目して
どうしたの?

おしっこと愛液...
それから精子で
ビチヨビチヨだ...

ああッ...
すッごい...



調教ビアンカII

…なるほどお
そんなことが
あったんですね

それであの顔
だったという
わけですか

もう…ピピンまで
あんなことするとは
思わなかったわよ…

男ってみんな
そうなの…?

まあ…少なからず
みんな興味はあると
思いますけどね

ただ…
ビアンカさんの話を聞くかぎり
アベルは精神異常者かもですね

せ…
精神異常者…

あの男は人間として
終わってますよ!

だってフローラさんを
アナル狂いの変態に
変えちゃったワケでしょ?

最低のクソ野郎ですよ!
イカれたサイコパスです!

…

そんなに
気を落とさないで
くださいよ!

ビアンカさんには
ボクがいるじゃないですか!

それに…もしかしたら
逆のパターンかもですよ?

…逆のパターン?

フローラさんがアベルさんを
そそのかした可能性です

そ…そんな可能性
あるかしら…?

可能性はあると思いますよ
ただ…どっちにしてもボクは
あいつを許せませんけどね

だって
ピアンカさんを手に入れておきながら
平然とフローラさんを愛しているとか
言い放つようなヤツですよ？

…まだアイツのことが
忘れられないんですか？

…分かんない

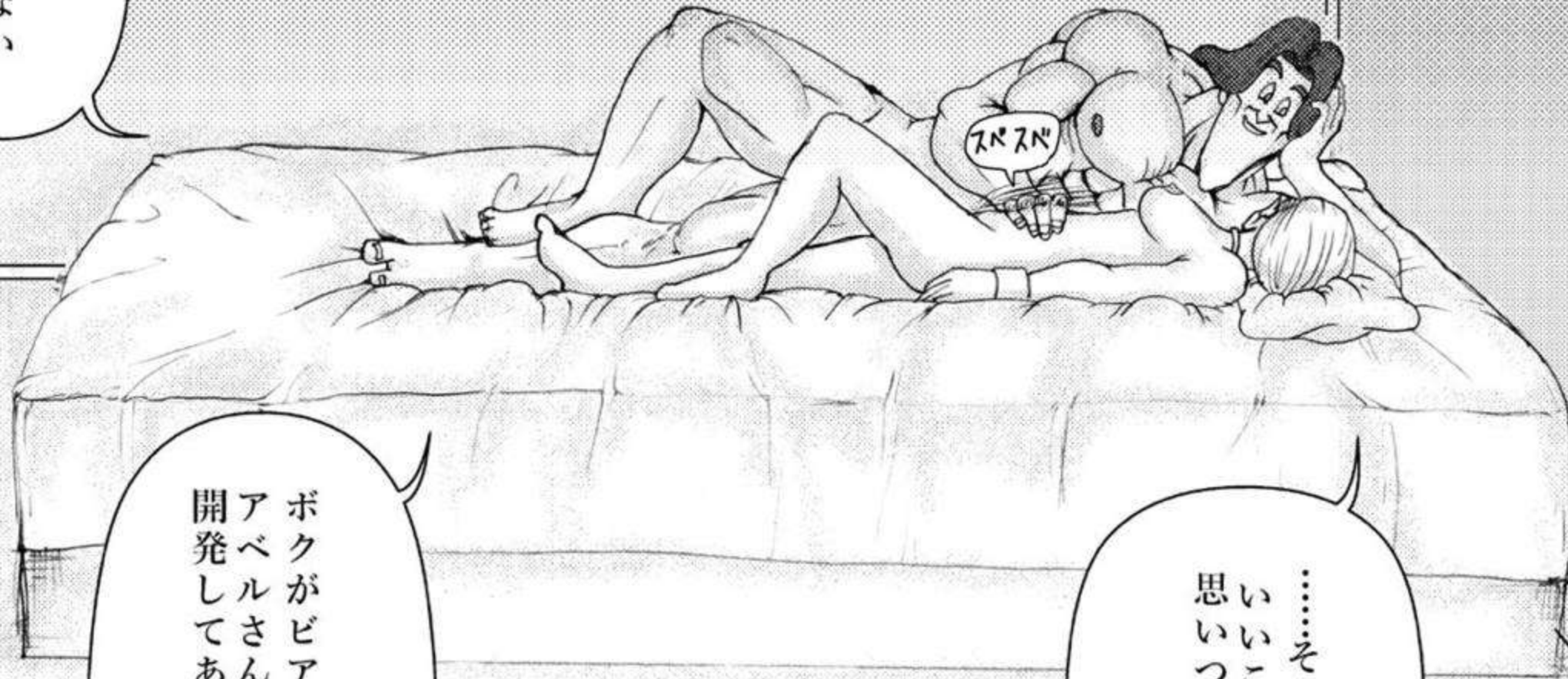
……

……そうだ！
いいことを
思いつきました！

……と？

ボクがピアンカさんのアナルを
アベルさんが満足できる仕様に
開発してあげますよ！

かっ…!?
開発って…



ボクだって本当は
イヤなんですよ？

な…なんで
そうなるのよ!?

アナル好きになった
ピアンカさんを
あの男が放っておくとは
思えないんですよ

でもボクにとっての幸せは
ピアンカさんの幸せですから
そのピアンカさんの選択肢を
増やしてあげたいんです

もし今後ピアンカさんが
あいつを選ぶことになる
としてもね…

ピ…
ピン…

だってまたピアンカさんを
あいつに盗られちゃうかも
しれないわけですから…

すばすば

ボクはあいつみたい
に卑怯な真似は
しません！
正々堂々と
ピアンカさん
を賭けて
戦いた
いんです
よ！

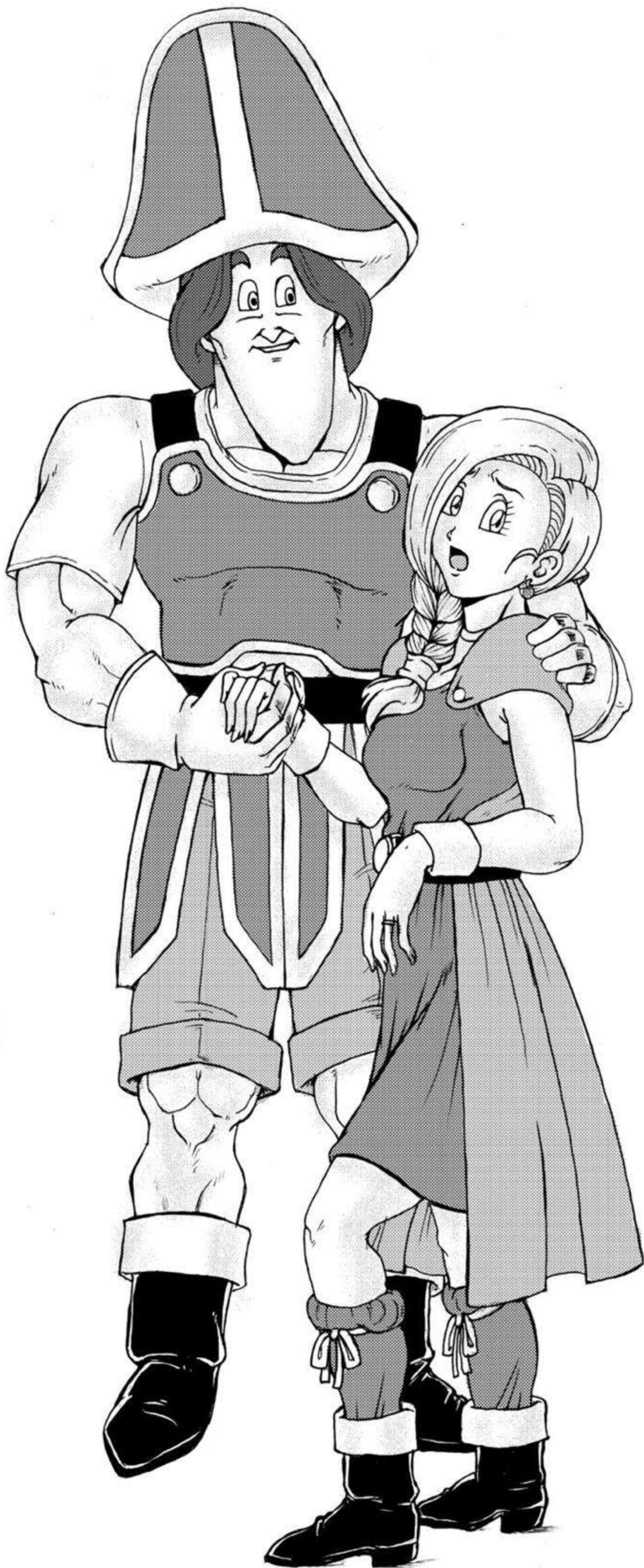
気持ちはずれしいけど
あたし…もうアベルを
許せるかわからないし…

そ…そもそも
お尻の穴なんて…

それに…

今日からまた冒険の旅に
戻ることになってるから
どっちにしても無理よ

それなら心配いりませんよ
ボクにいい考えがあります



数日前一

「ほらよ。頼まれたブツだ」

まだアベルたちがピピンと合流する前のサラボナ。
薄暗い路地裏でピピンが黒いフードを被った男と何やら取引をしていた。

「まずはいつもヤツ。メダパニ、マヌーサ、ラリホー、モシヤス各3個ずつな」

どうやら黒いフードの男は闇商人らしい。
ピピンはゴールドを支払い、闇商人から品物が入った袋を受け取っている。

「それから、これがメダパニ改とマヌーサ改、ラリホー改、そして各種魔法の解除薬だ」

「おお！ ありがとうございます！」

はしやいでよろこんでいるピピンを見て、闇商人が注意勧告をする。

「改シリーズは強力だから、使うときはちゃんと用量、用法を守れよ？ オーバードーズしすぎると解除薬も効かなくなっちゃう危険もあるからな」

「わかってますよ！」

まるで話を聞いてないピピンに闇商人はため息をついてから世間話を始めた。

「それにしても…これまで高価だからってケチって改シリーズに手を出さなかったおまえが
どういう風の吹き回しだ？」

「ついに運命の人と結ばれるチャプスが訪れたんですよ！ ま、改シリーズが超劇薬なのは
ボクも理解しているので、できれば通常のヤツだけで済ませるつもりですけどね！」

「運命の人ねえ…」

闇商人が呆れていると、商品の入った袋を覗いていたピピンが不思議そうに呟いた。

「あれ？ なんか1個、頼んでない薬が入ってますよ？」

「ああ。そりゃ旧型のメダパニ薬だ。高額な改シリーズを3つも買ってもらったからな。
おまけだよおまけ」

「……旧型ってちゃんと効くんですか？」

「もちろんさ。新型ほど即効性はないかもしれないが、かつてはメダパニックと名づけられ
恐れられたシロモノだ。すぐに狂うさ」

「そうですか！ じゃあデモンストレーションで使わせてもらいましょ！」

おまけ

擬似予告

Extra episode

※本編とは直接関係ありません。
あくまで本作のおまけで、別の世界線のお話です。
(場合によっては次回作に反映する可能性あり)

「はアん…♡」

喘ぐビアンカには首輪が装着されている。
そしてビアンカの首輪から伸びたリードを握っているのはピピン。

「ふふ。気持ちいいでしょ。この大ミミズを改造して作った生きたバイブ♪」

ビアンカのパンツには、縁のほかに陰部とアナルの部分に円形の金属加工が施されておりその穴にハマり込むようにして不気味な生物のようなモノがビチビチとうごめいていた。

実はこの生き物のようなモノは、闇の組織によって作られた非合法のバイブ型調教道具で闇商人をとおしてピピンが購入してきたモノだ。

女の匂いに反応して膣やアナルに侵入し、内部で液体を出し続けるように設計されている。そしてすべての体液を女性の体内に放出すると、外に出てきて息絶えるというシロモノらしい。

よく見るとビアンカの周囲には、動かなくなったソレが何体も横たわっていた。

「あっはあ〜ん♡」

ビアンカのアナルに入っていた生物が、ズルズルと外に出てきた。

「お？ アナルに入っていたヤツは、そろそろ寿命のようだね！」

この生物型バイブの液体は、注入された女性の感度を飛躍的に上昇させる効果がある。

「ねえ…ピピン…♡ はやく次のヤツ…あたしのケツ穴に挿入れてえええ…♡」

そこらへんには、すでに数えきれないくらいのバイブ型生物の死骸が転がっている。これは相当量の体液がビアンカの中に入れられてしまっていることを意味していた。

「ふふ。仕方のないやつだな♪」

ピピンは生け簀から生きがいいヤツを選んで手に取ると、ビアンカのアナルに近づけた。ビチビチと暴れながら、ソレがビアンカのアナルの中に入っていく。

「いや〜ん…♡」

アナルにバイブ型の生物を入れられて、恍惚の表情を浮かべるビアンカ。

「ふふ…。もうすっかりアナル好きになっちゃったな。ビアンカ♡」

ははッ…
見てみるよビアンカ！
メス穴に挿入れたヤツ
まるでチンコみたい
なってるよ！

それに比べてケツ穴のは
挿入れたばかりだから
活きがいいねッ…♪

あッはアあんッ…♡
いッ…イイ…♡
もうおもちゃあッ…♡

もつと舐めて
調教お…♡

もつと開発して
ケツ穴ア…♡

ふははははッ

…いいぞお！
ビアンカあ♡
その調子だ♪

びく♡
びく♡

『ボクが考えた
最高のビアンカ』に
なりつつある！

もう二度と元
に戻らないよう
に完ぺきに調教
してあげるからね♡

びく♡
びく♡

次回へつづく…

あとがき

このたびは『調教ビアンカII』をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

1巻を発売した時期に、ちょっと山ほど頭を悩ます事態が起こっていましたので2巻以降は手が付けられるか微妙でしたが何とか発売にこぎつけました。

本作では1巻にあった謎についての伏線回収、および次巻につながる伏線的な要素の開示など、解説パートを数ページほど終盤に導入してあります。そのため本作を読み進めていった場合、どうしても終盤にエロ要素が希薄になって拍子抜けしたまま本を閉じることになってしまう恐れがあると感じました。

解決策として、最後のページに実用性のあるエロシーンを追加したIFストーリーをオマケの疑似予告として追加しておきました。本編も似た展開になる可能性はありますが、あくまで本編とは関係ないオマケです。満足いただければ幸いです。

ちなみに…本作にふたなり要素を取り入れる予定はございませんが、状況次第では調教ビアンカと並行して新規ふたなり作品を描き始めるかもしれません。

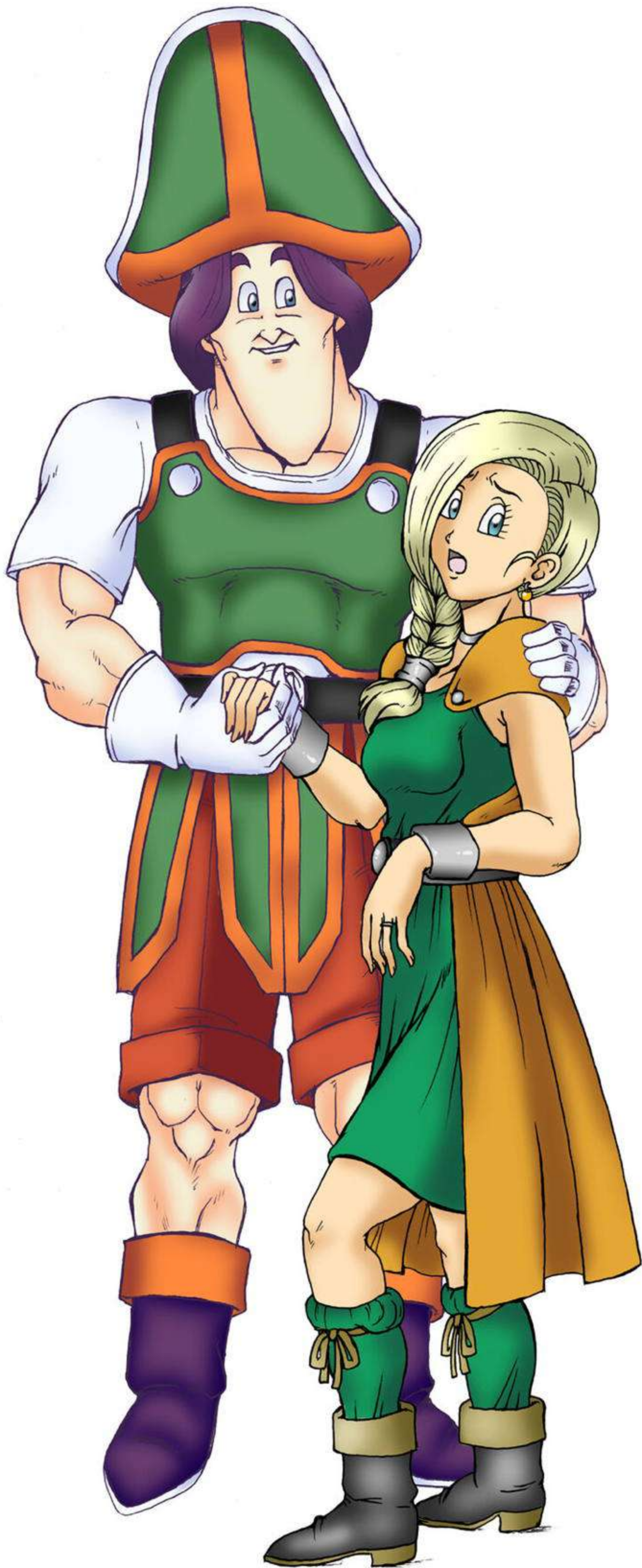
またご意見ご感想などございましたら、下記からコメントください。

TwitterX : <https://twitter.com/maimaimainmaru>

Pixiv : <https://www.pixiv.net/users/74202468>

もしよかったら、また次回もぜひ応援よろしく願いいたします。

まいん☆からっと



ちょうきょう

調教ピアニカⅡ